



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：ともに、光の中を歩もう Henry Grindheim (ノルウェー)
アジア太平洋会長主題：ワイズ運動を尊重しよう Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事主題：広げよう ワイズの仲間 栗本 治郎 (熱海)
あずさ部長主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう 大野 貞次 (東京西)
甲府クラブ会長主題：みんなで協力、楽しく一緒にワイズ活動 丹後 佳代

甲府ワイズメンズクラブ
2018 6月会報
●今月の強調目標
(評価)

■今月のことば■

一期栄華一杯酒、 四十九年一睡間、 生不知死不知、 人生是夢中。

「上杉謙信の辞世の句」石川 和弘 会員選

今月の例会案内

日時：2018年6月12日(火) 18:45~20:45
会場：談露館 担当：役員会
司会：ピーター・マウントフォード 君

プログラム

- ・開会点鐘 丹後 佳代 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条 一同
- ・会長挨拶/ゲスト紹介 丹後 佳代 会長
- ・今月のことば/食前の感謝 石川 和弘 君
- ・ワイズディナー
- ・年間報告 丹後 佳代 会長
- ・各委員会年間報告 各委員長
- ・東日本区大会の報告 丹後 佳代 会長
- ・チャリティーランの報告 YMCA 露木総主事
- ・ハッピーバースデイ&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 丹後 佳代 会長

5月のデータ

会員数	35名	ゲスト	2名
例会出席	24名	渡辺 光美様(卓話者)	
出席率	69%	トマス君(ロータリー留学生)	
		メネット 1名(標 恭子)	

これからの行事予定

6月14日(木)	チャリティーラン反省会	18:30~	山梨YMCA
6月26日(火)	甲府クラブ役員会	18:30~	山梨YMCA
7月 9日(火)	キックオフ例会	18:45~	談露館
7月14日(土)	あずさ部評議会		代々木オリセン
7月24日(火)	甲府クラブ役員会	18:30~	山梨YMCA

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

2年連続の会長について

会長 丹後 佳代

とても暑い日が続いていたかと思ったら、とうとう梅雨入りしてしまいましたね。

体調などは崩していませんか？

東日本区大会も終わり、いよいよ今期も終わりに近づいています。

チャリティーランも無事終わりました。お疲れ様でした。

あと今月いっぱい私の会長任期も終わりになります。2年間、色々、ご協力を頂き、ありがとうございました。甲府クラブでは2年連続で会長を行うことは今までになかったと言うことで、とても不安がありました。しかし、皆さんに支えられて、何とか任期を終えることができそうです。特にこの1年間は会長を任されることを想定していなかったのも、とても大変でした。でも、2年続けたことで、甲府クラブの問題点、改善点、甲府クラブの強みも見えてきました。これからは会長を経験したことで得たことを生かしながら、甲府クラブに関わっていきたいと思っています。

来年度はピーター・マウントフォード氏が会長です。2度目の会長なので、甲府クラブの活性化に向けて、新たな年度になると思います。期待しています。皆さん本当にご協力ありがとうございました。

5月例会報告

神山 玄太

5月例会は、会員増強委員会の担当ということで、仙洞田安宏さんの司会進行で開会しました。冒頭の丹後佳代会長のあいさつでは、6月9日（土）に開催を予定している第21回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン2018への協力を依頼するとともに、恒例の握手して挨拶する^{*}「ミングル」で、会員間のコミュニケーションを図りました。



ワイズディナーに入る前、今月の言葉を担当された大澤英二さんから、山梨YMCAが5月に創立記念を迎え、また道路拡幅によるYMCAの移転も予定されていることから、40周年のときの話をお話いただきました。

卓話では、「かけがえのない命を愛する心と体づくり～山梨発進！健康安全郷育プログラムを通じて～」をテーマに、リズムオブラブ代表の渡辺光美さんより、参加者一同が一緒になって体を動かしながら、ご講演をいただきました。

大学時代に体育を学び、その後、教師になった渡辺さんですが、2001年に大阪の池田小学校で起こった事件を契機に、一人ひとりが自分の命を自分で守る術を身につけるため、かけがえのない命を大切にする心と体づくりをしたいと教員の職を辞し、命の大切さを地域教育として行っていく現在の活動を始めました。

「郷育」を掲げ、ふるさととともに育ち、一人でも多くの方が明るく暮らせる山梨を目指して、体を動かすことを通じ、健康安全郷育プログラムや電話詐欺撲滅体操などを行っています。



「きょういく」は「教育」から、「郷育」、そして「響育」へと、山梨での育みをともに響かせていけるように今後も活動を続けていく決意を語ってくださいました。^{*} MINGLE(ミングル)異なるものを混ぜる、ミックスするという意味



5月役員会報告

日時：2018年5月22日（火）18：30～20：00

場所：山梨YMCA 2F

出席者：丹後・ピーターM・標・小倉・仙洞田・荒川・渡辺

報告事項

❖5月8日（火）講師例会：会員出席24名（69%）、標メネット、ゲスト2名：講師、渡辺光美氏、金丸ワイズ宅にステイしているロータリー留学生トマス（デンマーク）。出席者数は1月例会同様、2番目に高い。

❖5月12日（土）あずさ部第3回評議会出席：丹後会長、秋山、標、大澤、仙洞田、ピーターMワイズ、6名。あずさ部の会員が増えた。東日本区から部の活動補助金は次年度から会員当たり¥300になる。

❖5月12日（土）富士五湖クラブ15周年記念祝会出席：丹後会長、秋山、標、小倉夫妻、大澤、仙洞田、ピーターMワイズ8名。丹後会長はスポンサークラブとしての挨拶をした。

❖5月17日（木）21回チャリティーラン第2回実行委員会出席：丹後会長、大澤、荒川、ピーターM、渡辺ワイズ。準備は順調に進んでいる。委員会後、丹後会長と露木総主事は施設の視察をした。残り課題が議論された。次回実行委員会5月31日（木）18：30。

❖石原基平氏の入会について7月総会後に計画。スポンサー候補は石原ワイズと武田ワイズ。ピーターMが確認する。

協議事項

❖6月12日（火）談露館：役員会担当。一年間の活動、東日本区大会、21回チャリティーラン、各委員長の年間報告。ピーターMはプログラムを作成・回覧。

❖次年度計画：7月10日（火）談露館：総会プログラム作成（仙洞田）と委任状。8月例会案は根津さんがピーターMに当日に提出、後日に回覧。

❖4月に富士クラブとの交流例会を下で実施予定。富士五湖クラブの望月勉会員に卓話を依頼して富士五湖クラブも加えた合同例会を検討。

その他

❖6月4日（月）甲府21クラブはBF代表、カナダのロビンソン夫妻のホスト。岡島ローヤル会館で例会・歓迎会を開催する。甲府クラブの会員参加についてピーターMが確認。
(ピーターM)

第21回東日本区「沼津大会」

秋山仁博

6月2日～3日と東日本区沼津大会が開催されました。

一昨年の長野大会で甲府ワイズメンバーが全員協力で成功に導いた事が思い出され、長野クラブが販売したジャムに思わず手が出て、お土産に買ってしまいました。そんな気持ちで参加すると、沼津クラブ会員のご苦勞が良く解り、協力出来たことを心からうれしく思いました。

オープニングは地元高校生による和太鼓の迫力ある演奏に始まり、恒例のパナーセレモニーは、あずさ部のトップに甲府クラブの丹後会長が入場され、セレモニーも無事終了して、来賓祝辞やメモリアルアワーがあり、休憩後の東日本区アワーでは、理事報告、各部長報告がありました。

記念講演は、バルセロナオリンピック水泳の金メダリスト「岩崎恭子」さんの「幸せはいつも自分でつかむ」、2020年東京に向けての裏話あり、また人生の挫折から立ち直った話もありで時間の経つのも忘れてしまいました。講演終了後の晚餐会は、甲府クラブは2テーブルに分かれて、他クラブ会員とも交流し、またあずさ部全員で「あずさの道」を合唱して、会場に大いに受けました。残念だったのは、海の幸を期待しての参加したのですが、翌日の昼食に期待することにしました。終了後、二次会は富士五湖クラブと一緒に、夜遅くまで、時の経つのも忘れてしまいました。

明けた翌日は、事業主任報告とアワードがあり、甲府クラブも事業を重点的に実施して、優秀賞を狙って行く必要があると感じました。最後に、来年は東京の代々木オリンピック記念青少年センターで開催されますので、一人でも多くのメンバーに参加して欲しいです。参加者は約480名、甲府からは、丹後、小倉夫妻、大澤、仙洞田、ピーター、秋山の7名でした。



「沼津大会余聞」の余話

仙洞田安宏

大会の前日、区の役員会前の短い時間でしたが、以前から気になっていた「沼津市明治史料館」(以下史料館)へ寄りました。大会後、その経緯をワイズのメールネットワークに「沼津大会余聞」として投稿したところ、思わぬ反響がありましたので、以下に、その後の新たな情報を加えて寄稿します。

史料館を訪れた理由は、江戸から明治にかけて活躍した不思議な繋がりを持つ二人の人物に会うためです。

ひとり、この史料館の別名にもなっている、江原素六(1842-1922)です。江原素六は、教育者・政治家として近代沼津の発展に貢献された人ですが、36歳で受洗し、東京YMCAの理事長も務めた経歴を持っています。

もう一人は、江戸末期に海軍総裁を務めた矢田堀景蔵(1829-1887)という人物です。この二人は、明治初期に設立された沼津兵学校において、江原が少参事・軍事掛、矢田堀が権少参事・軍事掛として接点がありました。

矢田堀景蔵は、ワイズ日本区第15代理事(1970)を務めた、抱井五郎氏(かかいごろう・東京江東)の曾祖父にあたる人物です。その抱井氏は、去る3月に亡くなられた村杉克己さん(東京北)の伯父にあたることはよく知られています。

私は数年前に、村杉さんから一冊の本を紹介されました。「群青 日本海軍の礎を築いた男」という矢田堀景蔵の生涯を描いた小説です。著者の植松三十里氏のブログに「歴史に埋もれた海軍総裁」というタイトルの、この本についての執筆経緯があり、その中に、史料館に矢田堀の史料を寄贈した、抱井五郎さんに面会し取材した旨の記述がありました。そんなことをメーリングリストで紹介したのです。

すると、さらにあらたな事実を知ることになりました。東京北クラブの神谷邦子さんが、江原素六の曾孫にあたるということでした。なんと、明治時代の沼津兵学校で同僚であった、江原と矢田堀の子孫が、共にワイズメンズクラブの会員であるとは! 大会には、神谷さんと故村杉さんの夫人・一栄さんも参加されていたので、最初から知っていたら、一緒に史料館を訪ねれば良かったのにと後悔した次第です。

この史料館については、他のワイズメンもそれぞれの関心を持って訪ねていたことがわかりました。

十勝の山本雅之さんは、江原と神谷さんのことは既知で、幕末を題材にした書籍で沼津兵学校を知ったことで訪問されたのですが、今回あらたに矢田堀の事と「興農学園」のことを知ったそうです。興農学園は、昭和初期に沼津に設立されたデンマーク教育を模範としたキリスト教主義の農学校で、内村鑑三や新渡戸稲造もその協力者として名を連ねています。また、東京サンライズの菰渕光彦さんは、母校の青山学院大学が、昭和12年から16年の間に、沼津千本濱で森永学生キャンパスの経営を行っていた事実を確かめるために、学芸員を訪ねたそうです。

沼津という町が歴史を通して、様々な思いを持つ人々を引き寄せ、繋がりを紡いでいく。そんな醍醐味を味わうことができた大会でもありました。

第3回あずさ部「富士の国」評議会報告

丹後 佳代

2018年5月12日（土）在京クラブのメンバーが乗る高速バスが遅れたため10分遅れでのスタートで、今年度最後のあずさ部評議会が富士吉田市の魚吉会館で始まりました。大野あずさ部長の挨拶ではただただ感謝だけだと伝えられました。

第1号議案として、次年度のあずさ部活動方針（案）の承認、次年度経常予算（案）の承認が行われました。予算については細かい変更点があり、その変更点は7月の評議会で修正したものを渡されるとのことでした。

その後、部長による中間報告、東日本区役員会報告、事業主査活動中間報告が行われました。東日本区役員会報告では大野部長は耳が悪く広い会場では声が聞き取りづらいことから、あまり内容が聞き取れなかった。本当に申し訳ないと謝っていました。しかし、現在のワイズ活動は高齢化が進んでいるので、このようなことは大野部長だけではないと感じました。会議の進め方の改善も今後の課題だと感じました。その後、各クラブ会長による活動中間報告が行われました。しかし、各クラブ会長はこの報告があることを事前に聞いていなかったのと、前回の評議会からあまり時間が経過していないことから、資料を作らない報告となり、どのクラブ会長も戸惑いながらの報告で、時には笑いも巻き起こる報告となりました。

来年度のあずさ部長である、甲府21クラブの廣瀬健氏からは、今一生懸命やれば必ず結果は付いてくる。「飛躍」と「前進」を主題として、各クラブの前進のために尽くしていきたいと力強い決意表明を頂きました。

甲府クラブの出席者は秋山、大澤、標、仙洞田、ピーター、丹後でした。

なお、評議会に先立ち「あずさ部エクステンション委員会」が開かれ、仙洞田会員が出席しました。

6月 Happy Birthday

メン 根津宏次(1日) 神山玄太(2日)
遠藤順彦(10日) 石川 博(13日)
石川和弘(17日)
メネット 渋谷政江(5日) 仙洞田克子(12日)
内藤いづみ(ピーター)(6日)

6月 Wedding Anniversary

該当者なし

富士五湖クラブ15周年記念例会

ピーター・マウントフォード

あずさ部評議会が終わると、ふすまが開かれ、会議室が細長い祝賀会室に変貌しました。

富士五湖クラブ15周年記念例会に出席者は80人強で、おなじみのあずさ部会員（60名）に加え、富士山部の伊東、御殿場、富士クラブ（17名）、富士五湖クラブのDBCクラブ、京都洛中（4名）、石巻広域クラブ（1名）と東山荘所長、堀口廣司氏が出席しました。

望月勉会員が司会で、15周年のビデオ鑑賞後のスポンサークラブの祝辞を飛ばしそうになりましたが、プログラム通りに丹後会長が平原さんから託された祝辞を皆さんの前で伝えました。

食事と歓談中に山梨YMCAの新館建設基金のために献金が集められ、露木総主事に贈呈されました。

閉会点鐘の前に、紙型のミニ松明が配られ、皆は松明を振りながら「燃えるよ ワイズ」を歌って、燃え上がり盛り上がるフィナーレになりました。

出席者：丹後会長、秋山、大澤、小倉夫妻、仙洞田、標、露木、ピーターM

山梨YMCAだより

山梨YMCA総主事 露木 淳司

50名もの出席者を得て、山梨YMCA定期総会が5月26日（土）無事終了致しました。2017年度の事業報告と会計報告の中で、70周年記念事業として立ち上げた放課後等児童デイが一年で軌道に乗ったこと、ぶどうの木が冬場を通じて一年中で利用者が定員いっぱいであったこと、わいわい地球塾に年間で延べ600人が参加したことなどをお知らせしました。

山梨YMCAは今、英語学校、野外活動、学童保育、高齢者デイサービス、放課後等児童デイの5本の柱で支えられていますが、2年後の新会館移転の時に向けて、さらに6本目7本目と備えていけるよう準備をしています。

総会では移転先が甲府市中央3丁目の市立中央保育所跡地に正式に決まったことも発表致しました。for allを目指す新会館では甲府市より国際交流事業も要請されています。

外国籍市民や留学生、海外からの旅行者を対象にした新しい試みにチャレンジします。ぜひ皆様のお知恵とお力をお貸しください！会館建設に向けて、まもなく建設募金も始まります。皆様からのあたたかいご支援をこころよりお待ち申し上げております。